

## 特集「人権・多様性社会」について考える その9

### ふくやま人権大学 多様性ゼミを開催

11月18日と25日に福山平成大学で多様性ゼミを開催しました。

講師は、平成大学教授の上村崇さんに依頼。

18日は、多様性を認め合う大切さについて講演して頂きました。その中で、身近な人がオストメイトが必要になり、初めて設置数が少ないと気づいたことや、配慮が必要な人を受け入れない社会の意識や環境について話されました。

25日は、まず盈進中学高等学校ヒューマンライツ部の皆さんが発表、「長島愛生園の入所者と交流し、ハンセン病患者の隔離政策による人権侵害について学んだこと」や「被爆者との交流で学び、核廃絶の活動を続けていること」などの報告がありました。最後に、歌「にじいろ」を手話で披露して頂きました。

次に、平成大学の学生が発表。「コロナ禍で外国人を排除する動きがあったが、ほとんどが長く福山に住み、町内会役員や消防団員として地域で活躍している人もいる」など、身近なことについて話をしていただきました。

最後に、参加者がグループに分かれて意見交換しました。

この講座を通じて、「多様性とは性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの違いを認め合うこと」「多様性を認め合う根幹は人権意識にある」など、一人ひとりの個性を尊重することの大切さについて学びました。

### 「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。